

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : De Anza College

留学期間 : 平成 26 年 9 月 1 日 ~ 平成 29 年 6 月 30

僕はただいま、San Francisco の近郊である Cupertino のコミュニティカレッジに通っている 19 歳です。大阪グローバル塾（OGS）米国コースの二期生として、2013 年にここシリコンバレーを訪問したことを機に、こちらへの海外留学を決めました！実は高校時代の友達の影響もあったため、留学に関しては高 2 の頃から興味がありました。高 3 の初め、周りが受験勉強で忙しいのに対し、まだ両親に進路を言っていない僕は OGS に通いながら、密かに TOEFL の準備で英語の勉強をしていました！親もかすかに気づいていましたが、初めて留学したいって口にした時、やはり強く反対されました。理由はみんなもお馴染みの、アメリカは危険だから、遠いから、学費が高いからです。確かに経済的なことはどうすることも出来ません、それでも僕は自分の意思を押し通しました。少しでも親の負担を減らせるよう、バイトを掛け持ちし、本気でアメリカで勉強したいという姿勢をみせるために、英語も努力しました。結果は文の初めに書いてあるように、僕は今アメリカで勉強しています。少しでもお金の節約ができるように、会社を通さず、願書やビザなどはすべて自分で調べながらやりました。留学前に英語を使う機会となったので、苦労はたくさんしたものの良い経験になりました。おかげで、英語のサイトやドキュメントを読み慣れるのがそんなに時間かからなかったです。みんなも是非ビザや願書などは自分で挑戦してみてください、きっと留学のためになります。

ここはシリコンバレーということでもあり、社長さんの講演会や、ビジネスのイベントがたくさん行われています。初めの頃、僕は積極的に参加してきました。話を聞きに行ったり、パーティーに参加したりしました。しかし、時間が経つにつれ、日本人学生との接触がほとんどな故に、主に日本語しか使わなくなりました。また、ビジネス専攻で志が高いみんなは、なんだかすごい事を成し遂げようと、すべてのアイデアをビジネス、起業、お金の方に持っていきようになりました。徐々に、僕の中では違和感を感じ始めました。デザインを専攻しているので、講演会で経営法など聞いても全然想像がつかず、質問応答もできないので、時々居場所がないと感ずることがありました。もちろんこれはシリコンバレーならではの特徴で、ここでしか経験できないことなので、参加してよかったとは思っていますが、周りにつられてしまっている自分もいることに気づきました。今では、講演会などのビジネス系のイベントは自分が本当に興味あるものだけに絞って、ボランティアや学業にもっと時間を費やすことができるように心がけています。

ボランティアの中で一番印象に残ったのは Maker Faire（DIY の展示発表会）です。最新のテクノロジー製品の見本市で、日本のスタートアップ、AgIC のブースを手伝わせてもらいました。僕は将来、デザインとテクノロジーを融合させ、新たなプロダクトの制作を考えていますので、そこで、様々な最新技術に触れて本当によかったです。専攻のデザインについてですが、なんと僕が Sculpture の授業中にワイヤを使って作ったポートレートが選考に耐え抜き、学校が毎年行う Student Show で展示されることになりました。

アメリカに来て初めてアート、デザインを始めたばかりなので、正直びっくりしています。確実に技術は他の学生と比べるとまだまだですが、このきっかけで、少しですが自分が選んだ道に対して自信を感じることができました。今回はただの展示に終わりましたが、次回は必ず表彰できるように、もっとレベルアップしていきたいです。英語ももっと積極的に使い、さらなる充実した留学生活を送っていきたいです。